



## 2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社アゴーラ ホスピタリティーズ グループ  
 コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) クォック・ゲイリー・ヤン・クエン  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 石井伸幸 TEL 03-3436-1860

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,440	20.1	683		612		812	
2020年12月期第2四半期	1,803	44.3	820		838		1,075	

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 829百万円 ( %) 2020年12月期第2四半期 1,102百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	3.20	
2020年12月期第2四半期	4.24	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	17,041	6,961	33.0
2020年12月期	17,362	7,785	37.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 5,619百万円 2020年12月期 6,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		0.00	0.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	281,708,934 株	2020年12月期	281,708,934 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	27,764,544 株	2020年12月期	27,764,544 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	253,944,390 株	2020年12月期2Q	253,944,390 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年12月期の業績予想につきましては、主力事業である宿泊事業におきまして、新型コロナウイルスの流行により、現時点で合理的な業績予想の算出をすることが困難なため開示しておりません。今後、業績予想が可能になりました段階で公表いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期を下回る1,440百万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。宿泊事業においては、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症の影響により売上高は、1,102百万円（前年同四半期比25.7%減）となりました。当第1四半期と比較して当第2四半期においてホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺の宴会部門やホテル アゴーラ 大阪守口のレストラン部門の利用は回復しつつありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった前年第1四半期連結累計期間の売上高を含めた宿泊事業全体では、前年同四半期比25.7%減となりました。霊園事業および住宅事業を行っている、その他投資事業の売上高は338百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

費用については、継続的なコスト管理に努めた結果、宿泊事業においては営業損失594百万円（前年同四半期は営業損失679百万円）となり、一方、その他投資事業において71百万円の営業利益となった結果、当第2四半期連結累計期間における営業損失は683百万円（前年同四半期は営業損失820百万円）となりました。なお、前年同四半期累計期間においては、ホテル アゴーラ 大阪守口は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて30日以上休業したため、休業期間中の費用40百万円は特別損失として計上いたしました。当第2四半期連結累計期間においては、一般管理費として計上しております。次に、経常損失は612百万円（前年同四半期は経常損失838百万円）となりました。主な要因は、前期末に比して当社の保有する豪州における不動産投資事業の評価が円に対して強くなったことから為替差益53百万円（前年同四半期は為替差損33百万円）を計上したことによります。それらの結果の上、非支配株主に帰属する四半期純損失27百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は812百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,075百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

#### ① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては2021年1月、2月の新型コロナウイルス感染症の第3波により2回目の緊急事態宣言および4月25日から始まった3回目の緊急事態宣言により、当社ホテルの利用客は伸び悩み、ホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺においては売上高591百万円（前年同四半期比27.3%減）、ホテル アゴーラ 大阪守口においては売上高253百万円（前年同四半期比25.0%減）となり、宿泊事業部門全体では売上高1,102百万円（前年同四半期比25.7%減）となりました。しかしながら、3月に2回目の緊急事態が解除された後、ホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺の宴会部門、ホテル アゴーラ 大阪守口におけるレストラン部門などでは、徐々に利用者が戻りつつあります。また、全施設に推し進めている、稼働に合わせた適正な人員配置を行うコスト管理の徹底の他、外注費の削減、ビルメンテナンス、修繕の見直しなどのコスト削減策を継続的に取り組んだ結果、営業損失は594百万円（前年同四半期は営業損失679百万円）となりました。

#### ② その他投資事業

霊園事業の売上高は、売上高は309百万円（前年同四半期比39.9%増）となりました。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の流行により新規受注高は減少しましたが、受注した案件について当四半期での入金が増進が行われ、引き渡しが昨年と同時期よりも進捗したことによります。また、住宅等不動産事業開発事業としては、2020年7月に南麻布合同会社が保有していた賃貸物件を売却したことにより、住宅等不動産開発事業の売上高は13百万円（前年同四半期比86.1%減）となりました。また、証券投資事業につきましては13百万円の営業利益（前年同四半期は営業損失32百万円）となりました。その主な理由として、香港市場においてハンセン指数が昨年末に比べて上昇したこと等の市場全体の値上がりによるものであります。それらの結果、その他投資事業の全体の売上高は338百万円（前年同四半期比5.6%増）となり、営業利益は71百万円（前年同四半期比119.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、17,041百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%減少し、4,178百万円となりました。これは現金及び預金が46百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し12,676百万円となりました。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し186百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.2%増加し、10,079百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて20.5%増加し、2,693百万円となりました。これは、未払金が421百万円、短期借入金が91百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、7,385百万円となりました。これは、長期借入金59百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて10.6%減少し、6,961百万円となりました。これは、利益剰余金が812百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し、2,128百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は149百万円（前年同四半期は557百万円の使用）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純損失792百万円、売上債権の減少額58百万円、仕入債務の減少額76百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は99百万円（前年同四半期は848百万円の使用）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出82百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は186百万円（前年同四半期は920百万円の獲得）となりました。

これは主に短期借入金の純増減額91百万円、長期借入れによる収入120百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、主力事業である宿泊事業におきまして、新型コロナウイルスの流行により、現時点で合理的な業績予想の算出することが困難なため開示をしておりません。今後、業績予想が可能になりました段階で公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,175,524	2,128,606
売掛金	179,588	120,722
有価証券	240,215	284,238
貯蔵品	66,104	42,659
開発事業等支出金	1,178,694	1,195,968
その他	542,703	416,260
貸倒引当金	△5,910	△10,396
流動資産合計	4,376,920	4,178,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,864,096	4,035,532
車両運搬具(純額)	2,256	1,678
工具、器具及び備品(純額)	91,736	96,102
土地	6,160,963	6,152,992
建設仮勘定	1,536,984	195,998
有形固定資産合計	10,656,037	10,482,304
無形固定資産		
商標権	0	0
ソフトウェア	16,514	16,493
のれん	1,269,021	1,196,092
無形固定資産合計	1,285,535	1,212,585
投資その他の資産		
投資有価証券	148,516	247,063
長期貸付金	376,955	410,642
その他	334,140	323,756
投資その他の資産合計	859,612	981,462
固定資産合計	12,801,185	12,676,352
繰延資産	183,933	186,643
資産合計	17,362,039	17,041,055

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	173,509	100,850
短期借入金	—	91,450
1年内返済予定の長期借入金	105,380	141,396
未払金	1,435,795	1,857,068
未払費用	30,754	34,769
未払法人税等	19,622	27,787
ポイント引当金	250	136
その他	470,181	440,272
流動負債合計	2,235,493	2,693,731
固定負債		
長期借入金	6,593,421	6,652,465
長期預り保証金	374,435	371,957
資産除去債務	26,000	26,000
その他	347,552	335,456
固定負債合計	7,341,409	7,385,879
負債合計	9,576,902	10,079,610
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,534,406	8,534,406
資本剰余金	2,646,000	2,646,000
利益剰余金	△3,696,886	△4,509,544
自己株式	△1,033,537	△1,033,537
株主資本合計	6,449,983	5,637,324
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△28,840	△17,935
その他の包括利益累計額合計	△28,840	△17,935
新株予約権	83,897	87,250
非支配株主持分	1,280,096	1,254,805
純資産合計	7,785,137	6,961,444
負債純資産合計	17,362,039	17,041,055

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,803,710	1,440,714
売上原価	1,778,273	1,350,102
売上総利益	25,436	90,611
販売費及び一般管理費	845,660	774,091
営業損失(△)	△820,223	△683,479
営業外収益		
受取利息	922	417
受取配当金	—	2
受取家賃	1,947	973
為替差益	—	53,396
プリペイドカード失効益	1,159	984
持分法による投資利益	85,025	91,908
その他	4,254	16,121
営業外収益合計	93,309	163,806
営業外費用		
支払利息	50,983	46,922
為替差損	33,236	—
資金調達費用	14,143	13,184
開業費償却	10,235	19,617
その他	3,424	12,921
営業外費用合計	112,023	92,645
経常損失(△)	△838,937	△612,319
特別利益		
固定資産売却益	—	3,500
特別利益合計	—	3,500
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	227,631	184,115
特別損失合計	227,631	184,115
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,066,569	△792,934
法人税、住民税及び事業税	18,727	47,150
法人税等合計	18,727	47,150
四半期純損失(△)	△1,085,297	△840,085
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,610	△27,426
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,075,686	△812,658



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,085,297	△840,085
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△17,218	10,904
その他の包括利益合計	△17,218	10,904
四半期包括利益	△1,102,515	△829,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,092,905	△801,754
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,610	△27,426

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,066,569	△792,934
減価償却費	141,716	148,393
固定資産売却益	—	△3,500
のれん償却額	72,928	72,928
開業費償却額	10,235	19,617
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,356	3,234
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,944	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△318	△114
受取利息及び受取配当金	△922	△420
支払利息	51,299	46,922
為替差損益(△は益)	47,427	△61,933
持分法による投資損益(△は益)	△85,025	△91,908
株式報酬費用	28,065	3,352
新型コロナウイルス感染症による損失	227,631	184,115
売上債権の増減額(△は増加)	389,465	58,869
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△26,015	△44,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	30,413	23,445
開発事業支出金の増減額(△は増加)	△7,555	28,947
仕入債務の増減額(△は減少)	△181,245	△76,378
長期前払費用の増減額(△は増加)	14,643	11,715
その他の流動資産の増減額(△は増加)	58,829	46,882
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△48,044	440,575
その他の固定資産の増減額(△は増加)	—	△12,242
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△23,119	△14,606
その他	2,515	2,885
小計	△360,340	△6,177
利息及び配当金の受取額	922	420
利息の支払額	△51,546	△47,137
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△157,073	△310,858
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	10,368	214,263
営業活動によるキャッシュ・フロー	△557,668	△149,489
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△915,200	△82,639
有形固定資産の売却による収入	—	12,975
無形固定資産の取得による支出	—	△4,383
貸付金の回収による収入	74,613	—
繰延資産の取得による支出	△7,696	△25,293
投資活動によるキャッシュ・フロー	△848,284	△99,340
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	91,450
長期借入れによる収入	1,061,316	120,000
長期借入金の返済による支出	△140,543	△24,940
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	920,772	186,510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,109	15,402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△488,290	△46,917
現金及び現金同等物の期首残高	1,315,852	2,175,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	827,562	2,128,875

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスによる感染症の拡大により、政府からの緊急事態宣言の発出や自治体からの休業・時短要請を受け、一部の施設においては営業を休止するなど、当社グループの企業経営に影響を与えております。

新型コロナウイルス感染症の影響が当社グループの業績に与える影響について、前連結会計年度の有価証券報告書に記載の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

その一方で、収束時期は依然として不透明な状況であり、第3四半期連結会計期間以降、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況にさらなる影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,483,062	320,648	1,803,710	—	1,803,710
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,483,062	320,648	1,803,710	—	1,803,710
セグメント利益又は損失 (△)	△679,043	32,606	△646,437	△173,786	△820,223

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△173,786千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,102,146	338,567	1,440,714	—	1,440,714
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,102,146	338,567	1,440,714	—	1,440,714
セグメント利益又は損失 (△)	△594,082	71,422	△522,660	△160,819	△683,479

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△160,819千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第2四半期連結累計期間において、世界的な新型コロナウイルスの影響により、訪日観光客数が減少したことを主要因として、営業損失683百万円、経常損失612百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失812百万円を計上しました。また、世界的な新型コロナウイルスの終息及び宿泊需要の回復には一定の期間を要するものと考えられることから、当社グループの資金繰りに懸念が生じており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、当該状況を解消すべく、2020年7月に当社グループが保有する賃貸不動産を売却したほか、徹底した固定費の削減並びに金融機関より運転資金を調達する等により、当面の運転資金を確保しております。